

1. 輸送の安全に関する基本的な方針

安全衛生理念

当社は、事業活動のあらゆる面で、働くすべての人及び作業によって、安全と衛生を優先に考え、活動します。

安全衛生方針

1. 事業場における危険又は有害要因を特定し、リスク(危険源)低減活動を図ります。
2. 労働安全衛生・道路交通法に関する、法律及び社内規則・協定等を順守します。
3. 全社員の協力を得て、自主的な安全衛生活動に積極的に取り組み、継続的な改善・維持向上に努めます。
4. 労働安全衛生マネジメントシステムの適切性、妥当性、有効性について定期的にチェックし、見直しを行ないます。
5. 全社員及び協力会社に対し、必要な教育・啓蒙活動を通じて労働安全衛生の質的向上に務めます。
6. 労働安全衛生方針は、求めに応じて一般に情報公開します。

《安全活動の骨子》

1. 労働災害隠しは絶対にしない。
2. どんなに小さな事故でも再発防止対策を徹底させる。
3. 事故災害情報の共有化を図り、類似事故防止対策を全社で迅速に横展開する。
4. 抑止活動として、OSHMS手法の展開と併せ安全教育、危険予知(KY)、ヒヤリ・ハット提案の活性化を図る。

《衛生活動の骨子》

心身とも健康な社員があつて、会社はお客様に高い満足度を提供でき健康こそが、全ての入り口であり『いきいき健康企業』を宣言し諸施策を講じる。

1. 労働者の健康の保持増進を図るための定期健康診断の100%実施。
2. 労働者の健康傷害を防止するための基本となるべき事項の徹底を図る。
3. 労働災害の原因及び再発防止対策で衛生に係るものの実施と運営。
4. 労働者の健康障害の防止及び健康の保持増進に関する重要事項。

初回制定:2002年4月1日

見直し:2020年6月1日

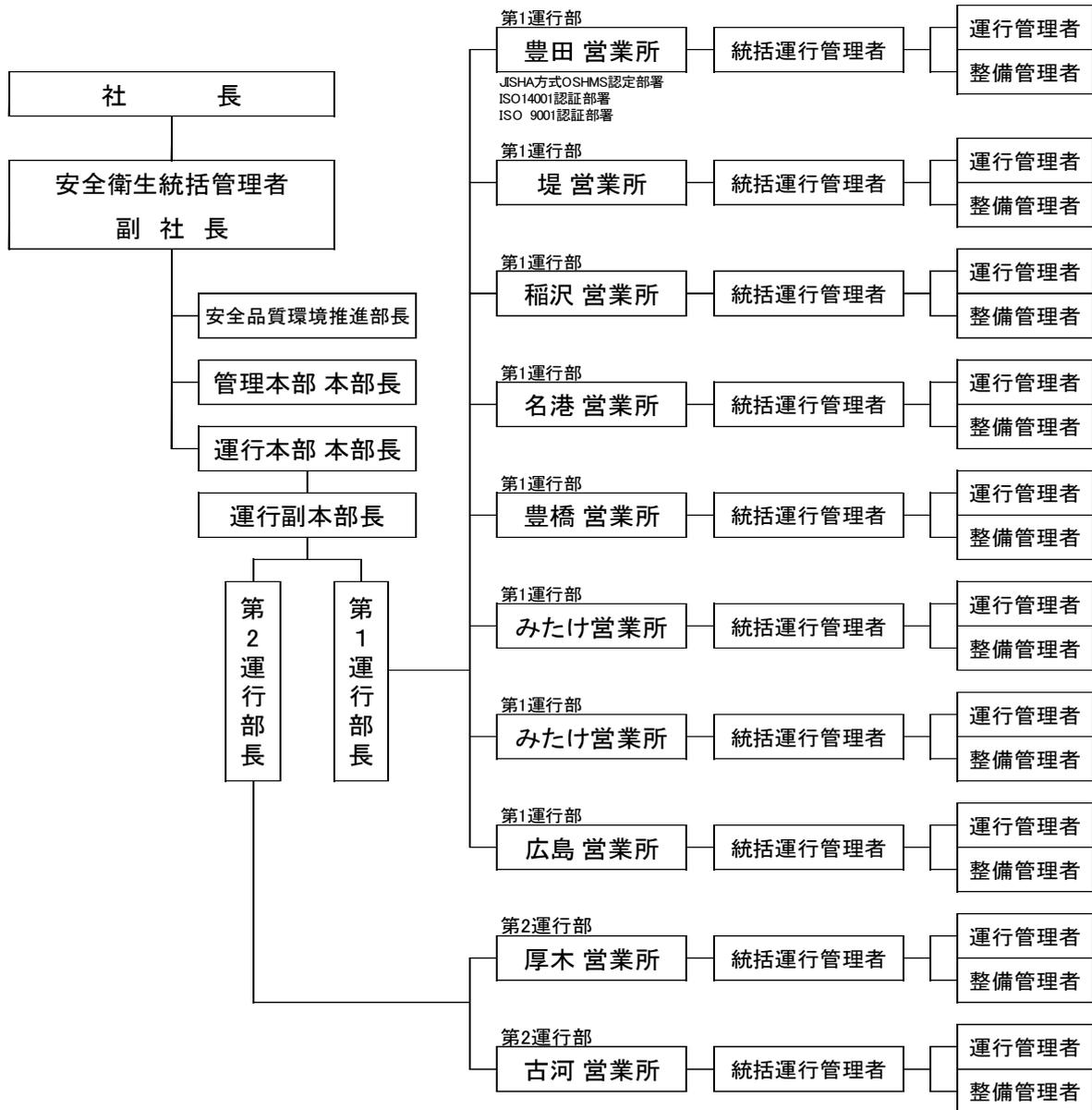
2. 輸送の安全に関する目標及びその達成状況

項目	2019年度の実績	2020年度数値目標
重大交通事故件数	0 件	0 件
重大労災事故件数	0 件	0 件

3. 自動車事故報告規則に規定する事故に関する統計

2019年 自動車事故報告書提出実績		
事故種別	件数	備考
転覆	0 件	
転落	0 件	
路外逸脱	0 件	
火災	0 件	
踏切	0 件	
衝突	0 件	
危険物等	0 件	
車両故障	1 件	操縦装置不具合
健康起因	0 件	
その他（前各項目に該当しないとき）	0 件	

4. 輸送の安全に関する組織体制及び指揮命令系統



2020年4月～

5. 輸送の安全に関する重点施策

《2019年度取組み》

《重点施策》

- (1) 運輸安全マネジメントの維持向上
 - (2) OSHMSの取り組み強化(リスクアセスメントの推進)
 - (3) 安全品質活動の完全実施
 - (4) 安全人間づくりの推進
-
- (1) 年頭、会社方針(安全衛生理念・方針内容含む)を主軸に年間計画に沿った安全管理活動の維持継続、労働者の危険、健康障害の防止など、未然防止活動に主眼を置き各事業場の安全と衛生に重きを置いた活動として研修会(4回/年)及び役員・管理職会議(1回/月)、部署でのグループミーティング(1回/月)開催
※目的に応じた、各種研修会、会議等は計画通り実施できた。
 - (2) ヒヤリ・ハット、コミュニケーションを重視し、リスクアセスメント後の有効性確認等、職場改善への理解活動を実施。
※2019年度(1～12月)単年ではあるが、交通人身事故「ゼロ件」達成となった。
 - (3) 輸送安全向上としての外部団体との連携での立哨活動等への積極的な参加、自社及び協力会社との全体での「無事故・無違反・無災害運動」(4回/年)、安全運転へ寄与する燃費向上月間(各4回/年)を開催、内外部研修等の参加での意識向上と労働時間管理での未然防止活動を実施。
※社内定期的行事の推進及び外部コミュニケーションでの情報展開実施できた。
 - (4) 輸送安全安全に関する、職制・担当業務に応じた人財育成の実施。
※現業部門での予測以上の人の変化点により、特に教育研修に遅れが生じた。
- 安全は「健康な身体」からとして、健康経営優良法人認定取得を図る。
※「いきいき健康企業」を宣言し『健康経営優良法人認定』を取得した。

6. 輸送の安全に関する計画

《2020年度重点取組み計画》

《重点施策》

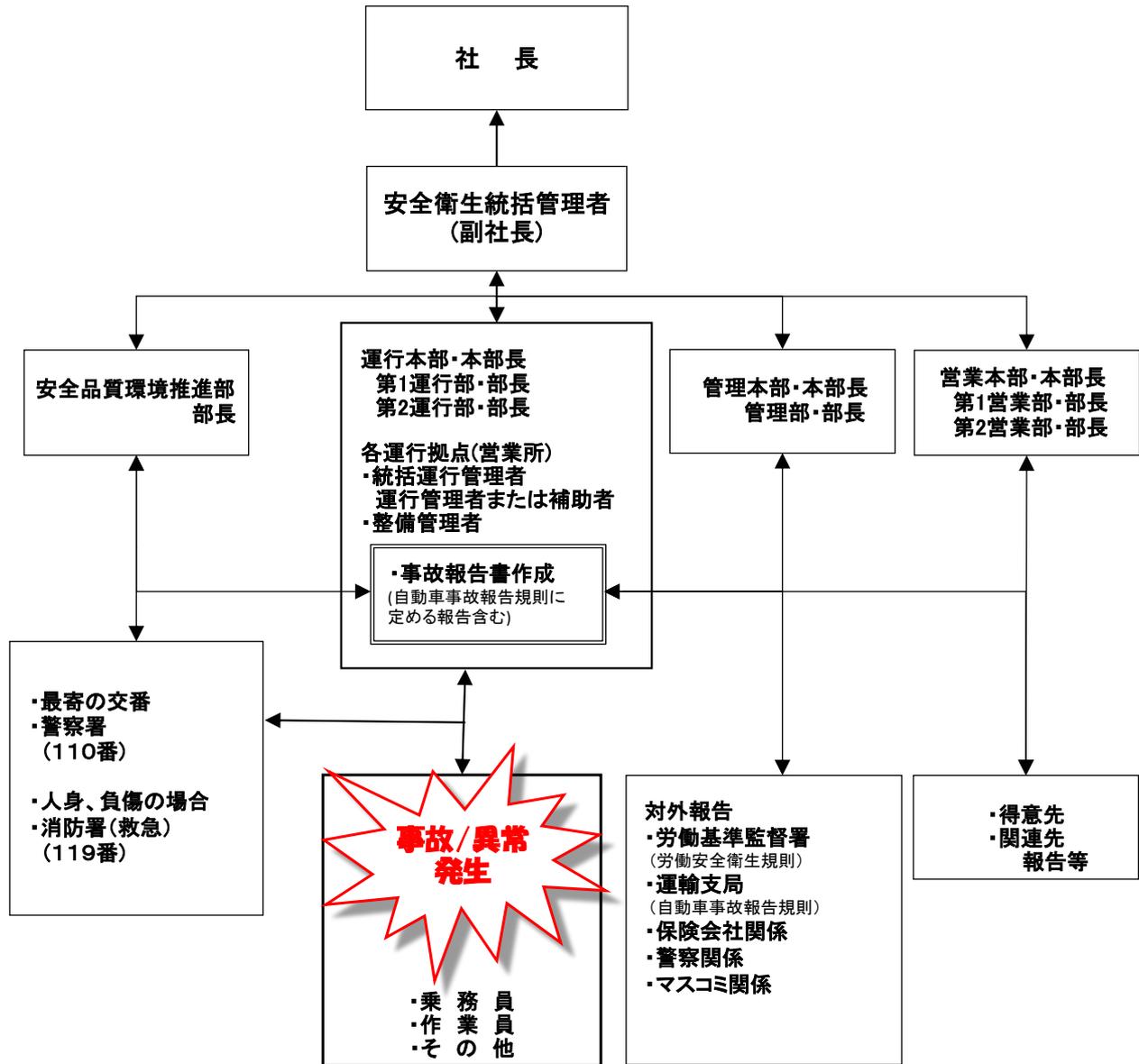
- (1) 運輸安全マネジメントの維持向上(特に働き方改革に向けた改善推進)
- (2) 輸送安全(安全・衛生)に係わる活動計画の見直しと実施
- (4) 安全人間づくりの推進
- (5) 健康増進の推進

- (1) 運輸安全マネジメントの確認監査として年1回実施前の状況確認していく。
運輸安全マネジメント要求事項と合わせ安全衛生管理に関する規程類や、実際の活動内容を整理し結果を国土交通省・厚生労働省等の指針に対し、不備・不十分事項を洗い出し見直しを図り働災害の防止のための活動を推進する。
働き方関連法適応(2024年)に向けた活動推進
- (2) ヒヤリ・ハット内容の層別等による有効活用、リスクアセスメントによる数値化による労働災害未然防止活動の有効性(見える化)確認。
- (3) 輸送および作業の安全品質を向上させるため、体系的な計画に基づいた立哨活動、無事故・無違反・無災害運動月間、安全運転としての燃費向上月間などの安全衛生活動を推進する。
- (4) 現場巡回によるルール順守の確認や労いでの声掛け活動を実施し、乗務員・作業員の意識向上活動を推進する。
教育の機会を活用し、知識・技能の向上を図る。
- (5) 働く人の健康状態を継続的に把握し、結果に応じ就業上の措置を見直す。

《2020年度重点施策》

- (1) 運輸安全マネジメントの維持向上(改善)
- (2) ヒヤリ・ハットの有効活用、リスクアセスメントの推進
- (3) 安全品質活動の完全実施
- (4) 安全人間づくりの推進
- (5) 健康増進の推進

7. 事故、災害に関する報告連絡体制



8. 輸送の安全に関する教育及び研修計画と実績

2019年度 教育及び研修の計画と実績

実施項目	担当部署	関係部署	1期 (1~3月)	2期 (4~6月)	3期 (7~9月)	4期 (10~12月)
①管理・監督者教育	管理本部	全部門	-----> ->		----->	
②研修会での安全・衛生・品質等教育 (年4回)	各本部	全部門	-	5月	7月	10月/12月
③各職層に応じたスキルアップ教育	管理本部	全部門		-----> ->		-----> ->
④グループミーティング (月1回)	各本部	運行本部	-----> ->	-----> ->	-----> ->	-----> ->
⑤新入社員・未経験者の個別教育	管理本部 教育センター	配属先部署	-----> ->	-----> ->	-----> ->	-----> ->

計画 -----> 実施 ->

《教育及び研修の実績》

- ①管理監督職クラスの教育を計画 → 環境変化もあり1/2程度に留まった
- ②前年12月に全社方針説明会と研修会を実施、5月、7月、11月に全部署において研修会を実施
- ③係長、主任クラス(監督職)のスキルアップ教育を計画 → 環境変化もあり1/3程度となった
- ④毎月1回のグループミーティング時間を設け、危険予知、ヒヤリハット、リスクアセスメントを実施
- ⑤新入社員・中途採用社員及び協力会社を含む全乗務員を対象に社内教育センターでの専門講師によるトラック運行での交通事故防止、フォークリフトによる労災事故防止としての運転操作の知識・技能

2020年度 教育及び研修の計画

実施項目	担当部署	関係部署	1期 (1~3月)	2期 (4~6月)	3期 (7~9月)	4期 (10~12月)
①管理・監督者教育	管理本部	全部門	-	----->	----->	-
②研修会での安全・衛生・品質等教育 (年4回)	各本部	全部門	-	5月	7月	10月/12月
③各職層に応じたスキルアップ教育	管理本部	全部門	-	----->	-	----->
④月1回のグループミーティング	各本部	運行本部	-----> ->	-----> ->	-----> ->	-----> ->
⑤新入社員・未経験者の個別教育	管理本部 教育センター	配属先部署	-----> ->	-----> ->	-----> ->	-----> ->

計画 -----> 実施 ->

9. 輸送の安全に関する内部監査計画と実績

《2019年度内部監査計画》

- ・定期監査・・・1回/年 7月～8月
- ・フォローアップ監査・・・1回/年 10月是正、予防措置の確認
- ・重大交通事故、重大労災事故・・・都度再発防止対策内容および順守確認実施

《2019年度内部監査実績》

- ・定期監査・・・2019年7月8日～8月7日
- ・フォローアップ監査・・・2019年10月7日～10月25日
- ・重大交通事故、重大労災事故は、ありませんでした

《2019年度監査結果》

項 目 (まとめ)
安全に対する取組み <ul style="list-style-type: none"> ・ 事故防止のための安全衛生方針 ・ 自社及びビジネスパートナー、関係者への方針の周知方法 ・ 安全衛生方針に基づく目標設定 ・ 目標達成への計画策定 ・ 安全衛生活動に関する情報交換方法 ・ 事故等に関する情報展開と対応 ・ 安全衛生目標の達成状況及び進捗確認 ・ 安全衛生に関する反省事項と改善方法

《2020年度内部監査計画》

1. 内部監査の実施(10拠点)・・・2回/年 7月、10月(フォローアップ監査)
(重大交通事故、重大労災事故・・・都度内部監査実施)
2. 調査項目

項 目 (まとめ)
安全に対する取組み <ul style="list-style-type: none"> ・ 事故防止のための安全衛生方針 ・ 自社及びビジネスパートナー、関係者への方針の周知方法 ・ 安全衛生方針に基づく目標設定 ・ 目標達成への計画策定 ・ 安全衛生活動に関する情報交換方法 ・ 事故等に関する情報展開と対応 ・ 安全衛生目標の達成状況及び進捗確認 ・ 安全衛生に関する反省事項と改善方法
調査内容の根拠 <ol style="list-style-type: none"> (1) 輸送の安全に関する基本的な方針 (第三条) (2) 輸送の安全に関する目標の設定 (第五条) (3) 輸送の安全に関する計画実施及び運用 (第六条) (4) 輸送の安全に関する重点施策の実施 (第十一条) (5) 輸送の安全に関する情報の共有及び伝達 (第十二条) (6) 事故、災害等に関する報告連絡体制 (第十三条) (7) 輸送の安全に関する教育及び研修の実施 (第十四条) (8) 輸送の安全に関する内部監査 (第十五条) (9) 輸送の安全に関する業務の改善 (十六条) (10) 情報の公開 (一七条) (11) 輸送の安全に関する記録の管理 (第十八条) (12) 危険有害要因の特定と改善

10. 輸送の安全に関する予算の実績額

2019年度 投資額及び投資実績

《2019年度投資項目と実績》

安全に係る教育・研修費 230万円

- ・管理、監督者研修
- ・添乗指導教育(トラック・フォークリフト)
- ・グループミーティング等

安全に係る備品購入費 175万円

- ・啓発グッズ
(安全マスク、のぼり旗、たれ幕、ポスター、書籍など)

教育センター移転 610万円

※賃借料含む

- ・屋外実習場を屋内変更するため、教育センターを移転(教習環境改善)

総計 1,015万円

セーフティー・サポートトラック/新型車両の導入(代替他) 21台

※車両購入費含まず

課題： 人財育成が計画通り進まなかった

2020年度 投資予算及び投資項目

投資予算額 2,000万円

投資項目

- ・管理、監督者研修(安全及び衛生(健康)に係る教育等)
- ・添乗指導教育(トラック・フォークリフト)
- ・トラック・フォークリフト/スキルアップ教育(職業訓練)
- ・グループミーティング等
- ・啓発グッズ購入
- ・感染症予防対策

セーフティー・サポートトラックの導入(代替他) 2020年5月見直し 10台

※車両購入費含まず